

伊勢原市社会福祉協議会 令和4年度決算の概要



～ 総括 ～

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響が残る中での事業運営となりましたが、社会経済活動との両立「with コロナ（コロナとの共存）」の方針のもと、これまで推進してきた地域住民同士のつながりを絶やさないようにするとともに、誰もが安心して生活が出来るように、地域の困りごとを把握し、職員一丸となりその解決に努めました。

新たな取組として、コロナ禍により日常生活が制限され人と接する機会の減少により、地域からの孤立を防ぎつなぐことができるよう、子育て世帯や一人暮らしの大学生を対象に「生活応援配分会」を実施しました。また、この事業実施に当たっては善意銀行の仕組みを活用したフードドライブを行い、多くの市民や企業の協力を得ることができました。

また、令和2年3月末から始まった生活福祉資金の特例貸付（注1）は、令和4年9月末をもって受付が終了し、令和5年1月からは償還が始まりましたが、厳しい社会経済状況から、借受人の中には生活に困窮し償還が困難な状況も見受けられたことから、償還免除に関する手続支援だけでなく、生活再建に向けたきめ細やかな相談等に努めました。

更に、成年後見・権利擁護推進事業では、中核機関として成年後見制度の利用が必要な人が安心して制度利用ができるよう、制度の普及啓発、相談対応に努めるとともに、被後見人等を地域で支える市民後見人の養成を進め、養成課程修了者6人を新たに市民後見人候補者として登録することができました。

（注1）生活福祉資金特例貸付：新型コロナウイルス感染症の影響を受け収入の減少や失業等により生活が困窮している世帯を対象とした貸付け



～ 主な事業に関する事項 ～

（1）「ふれあい」の場づくり

長引くコロナ禍の影響を受けながらも、自治会単位の小地域で開催されている高齢者のサロン活動においては、孤立や引きこもりの防止、介護予防活動に努め、住民同士の交流の場として地域活動が再開されました。

また、新たな地域において活動が開始されるなど、コロナ禍の中でも、身近な地域における活動の拠点が新たに誕生しています。

- ア ミニデイ（サロン）活動助成金交付実績：計37団体
- イ 小地域活動推進事業助成金交付実績：計9団体
- ウ 小地域活動推進事業情報交換会：計4回（参加者：37人）
- エ 東成瀬子育てサロン：毎月第3木曜日

（2）「支え合い」の地域づくり

長引くコロナ禍、多様化する生活課題、地域課題の解決に向け、地域住民や市内企業の参加と協力の下、新たな取組として生活応援配分会を開催し、地域でつながり、支え合う地域づくりの推進に努めました。

- ア ひとり暮らし大学生生活応援配分会（6月）
- イ 子育て世帯生活応援配分会（7月・12月）
- ウ 外国人向けサロン「そら Sky」：毎月第1火曜日
- エ 放課後児童見守り活動「なるっ子」：毎週金曜日
- オ 放課後児童見守り活動「みどりっ子」：毎週火曜日

（3）福祉を支える「人づくり」

住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らし続けられるよう、福祉サービスを担う市民後見人や介護人材の育成に努めました。また、次代を担う児童・生徒を対象に福祉体験等を通じた福祉教育の推進に努めました。

- ア 介護職員初任者研修受講者：5人
- イ 市民後見人養成講座：実践研修受講者：10人
実務研修受講者：7人
- ウ 福祉教育関係：比々多小学校4年生、竹園小学校3年生

（4）「安心して暮らせる」まちづくり

判断能力が十分でない高齢者や障がい者が地域で安心して生活が送れるよう、福祉サービスの利用援助に努めるとともに、成年後見制度の利用促進に向けた取組を更に強化するため、「中核機関」として成年後見・権利擁護推進センターの運営を行いました。

また、長引くコロナ禍の影響を受け生活に困窮している世帯へ

（5）組織の基盤強化及び自主財源の確保

複雑、多様化する地域課題に対応するため、新たな職員の採用も含め、適切な職員配置による事業推進及び包括的な支援体制の構築並びに事務局体制の強化に努めました。

また、自主財源の確保においては、新規事業である生活応援配分会の実施に伴い、フードドライブと併せて寄付金の募集等、周知に努めた結果、善意銀行への寄付金及び寄託品の大幅な増加、市内企業との新たなつながりを築くことができました。

令和4年度収入支出決算総括表

(単位：円)

	令和4年度決算額	令和3年度決算額	比較増減
収入額	283,164,075	277,269,875	5,894,200
支出額	246,269,043	220,822,670	25,446,373
差引残額	36,895,032	56,447,205	△ 19,552,173



一般会計 資金収支計算書 (勘定科目ごとの前年比)

収入 (単位：円)

勘定科目	令和4年度決算額	令和3年度決算額	増減額
会費収入	9,039,200	9,316,500	△ 277,300
寄付金収入	2,034,772	1,185,194	849,578
経常経費補助金収入	66,306,061	59,901,298	6,404,763
伊勢原市補助金収入	58,259,940	50,998,154	7,261,786
補助金収入 (物価高騰支援給付)	200,000	0	200,000
共同募金配分金収入	7,846,121	8,903,144	△ 1,057,023
受託金収入	85,178,231	83,524,140	1,654,091
伊勢原市受託事業	76,084,375	71,389,116	4,695,259
県社協受託事業	9,093,856	12,135,024	△ 3,041,168
貸付事業収入	353,127	302,656	50,471
事業収入	3,899,840	4,725,710	△ 825,870
参加費収入	467,750	544,000	△ 76,250
利用料収入	3,432,090	4,181,710	△ 749,620
介護保険事業収入	32,781,242	34,730,116	△ 1,948,874
居宅介護料収入	11,858,381	13,769,190	△ 1,910,809
居宅介護支援介護料収入	6,946,086	6,652,643	293,443
介護予防・日常生活支援総合事業収入	13,976,775	14,308,283	△ 331,508
障害福祉サービス等事業収入	24,145,781	23,380,922	764,859
受取利息配当金収入	4,587	9,236	△ 4,649
その他の収入	1,465,029	2,520,853	△ 1,055,824
その他の活動による収入	1,509,000	7,085,400	△ 5,576,400
前期末支払資金残高	56,447,205	50,587,850	5,859,355
収入額合計	283,164,075	277,269,875	5,894,200

支出 (単位：円)

勘定科目	令和4年度決算額	令和3年度決算額	増減額
人件費支出	158,369,525	158,361,092	8,433
役員報酬	1,102,000	1,046,000	56,000
職員給料・手当	105,317,390	97,473,935	7,843,455
非常勤職員給与	32,142,867	34,323,128	△ 2,180,261
退職一時金	1,519,956	8,386,170	△ 6,866,214
法定福利費	18,287,312	17,131,859	1,155,453
事業費支出	32,157,631	29,814,272	2,343,359
事務費支出	9,377,857	9,810,067	△ 432,210
配分金支出 (善意銀行配分金)	39,000	361,000	△ 322,000
貸付事業支出	365,000	310,156	54,844
共同募金配分金事業費	5,248,448	5,079,592	168,856
助成金支出	4,456,100	5,216,313	△ 760,213
負担金支出 (事務所維持管理負担金等)	3,244,584	2,950,198	294,386
流動資産評価損等による資金減少	45,127	0	45,127
その他の支出	0	253,440	△ 253,440
固定資産取得支出	1,815,880	2,228,380	△ 412,500
基金積立資産支出	101,345	102,112	△ 767
積立資産支出	22,472,177	11,468	22,460,709
その他の活動による支出	8,576,369	6,324,580	2,251,789
支出額合計	246,269,043	220,822,670	25,446,373

当期末支払資金残高 (次期繰越金)	36,895,032	56,447,205	△ 19,552,173
-------------------	------------	------------	--------------

一般会計貸借対照表 (バランスシート)

(単位：円)

資産の部	負債の部
流動資産	流動負債
現金・預金・未収金・立替金等	未払金・預かり金等
1年以内に現金化される資産です。	1年以内に支払われる負債です。
基本財産	固定負債
基本金特定預金	1年以降に支払われる負債です。
その他の固定資産	純資産の部
車両・器具及び備品・長期貸付金	基本金
基金積立資産等	その他の積立金
長期に保有する資産です。	次期繰越活動収支差額
資産の部合計	負債及び純資産の部合計

障害児者
ふれあい交流事業
～みかん狩り～



福祉教育
～車いす体験学習～